

伊勢湾貧酸素情報（第3報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、三重県側に2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

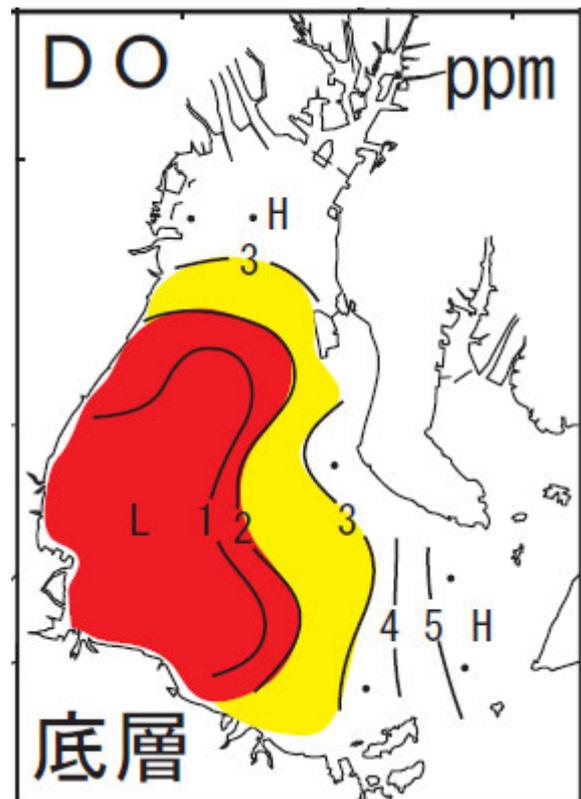
8月2日の調査結果

8月2日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で24.3～28.7℃、10mで20.6～23.6℃、底層で18.7～21.8℃の範囲にあり、表層は平年並、10mでやや低めから低め、底層では平年並からやや低めでした。

DO（溶存酸素量）は表層で4.4～11.2ppm、10mで1.9～7.1ppm、底層で0.2～5.8ppmの範囲にあり、表層、10m、底層とも平年並でした。

底層では、伊勢湾の湾奥部と湾口部を除く三重県側に2ppm以下の貧酸素水塊が形成されていました。

成層化が進んでおり、上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図